

神戸市保健所

神戸徳洲会病院の医師体制について

令和 6 年 8 月 8 日現在

医療法に基づき、神戸徳洲会病院の医師標準数を算定すると、総医師数は標準数を満たしている。  
 しかし神戸市保健所では安全に管理される診療体制の医師数としては、不足していたと判断している。  
 患者を安全に管理するために、以下を指導している。

- A 総医師数
- B 診療内容を踏まえた診療科ごとの医師数
- C 正しい労務管理のもとで夜間体制・緊急体制を構築するための医師配置
- D 安全かつ適切に管理するための患者数に応じた医師数（医師 1 人あたりの患者数）
- E 今後の診療拡充に合わせた医師増員計画の協議体制

神戸徳洲会病院から提出された医師数と想定病床数の計画について、上記 A、E を評価した。

1. 神戸徳洲会病院の総医師数について、同規模の病床数をもつ神戸市内病院との比較

◆同規模の病床数をもつ神戸市内の病院 9 施設の平均値（令和 5 年度データをもとに算出）

	平均病床数	病床数に対する平均患者数の割合	医師 1 人あたりの病床数*	医師 1 人あたりの入院患者数**
令和 5 年度	303 床	約 70%	5~6 床	約 4 人

\* 医師一人あたりの病床数（=病床数を医師数で除した数）

\*\* 医師一人あたりの入院患者数（=実際に入院している患者数を医師数で除した数）

・ 医師は病床担当しない医師を除いている

2. 神戸徳洲会病院の医師体制について

令和 5 年度は、全 309 床で算定すると医師 1 人あたりの病床数は 15 床、入院患者数は 5 人となっていたが、令和 10 年 8 月計画においては、医師 1 人あたり、病床数 5 床、入院患者数 4 人となっている。

◆神戸徳洲会病院 309 床稼働時の医師体制（資料 5-4）より

	病床数(床) 療養病床含む	平均入院患者数(人) (病床数に対する平均患者数の割合)	医師数(人) ※病床を持たない医師は除く	医師 1 人あたりの病床数(床)	医師 1 人あたりの入院患者数(人)
R 5 年度	309	96.8	20	15	5
R6.8 月計画	224	60	18	12	3
R7.8 月計画	224	156.8(70%想定)	24	10	7
R8.8 月計画	267	186.9(70%想定)	32	8	6
R9.8 月計画	309	216.3(70%想定)	47	7	5
R10.8 月計画	309	216.3(70%想定)	54	<b>5</b>	<b>4</b>

(※R7.8 月以降の平均入院患者数は比較対象 9 施設の病床数に対する平均患者数の割合約 70%を基準に算出した。)

3. 市内他病院との比較

R10 年時点の総医師数は、市内の同規模 9 施設の平均値と類似しているため、計画は概ね妥当であると考えられる。  
 しかし、この計画は診療科および診療内容まで詳細に加味されたものではないため、神戸市としては、上記 1 の B C D については、立入検査等により確認していく。医師体制について引き続き指導する。